

# (公財)のべおか文化事業団 令和4年度事業報告

## 1. 事業報告書

### (1) 概況

当年度は、昨年同様に新型コロナウイルス感染拡大により施設利用人数の制限など会館運営に影響がりましたが、コロナウイルス感染症減少の時期もあり、施設利用数及び利用料収益ともに昨年の実績を上回る結果となりました。

当年度の入場者数については、野口遵記念館が12月に開館し、合わせて116,674人(前年比51,386人増)で、開館以来の延入場者数は、7,355,241人となりました。また、各施設の稼働率については、文化センターの場合、ホール50%(大ホール48%、小ホール51%)練習室 54%、展示室 49%、会議室関係 40%である程度持ち直しています。また野口遵記念館の場合は、12月開館でしたが、ホール49%、フリースペース39%となっています。

また、施設の利用料金収入については、29,940,820円(前年比5,094,125円増)となりました。

この新型コロナウイルス感染症は、最近は減少しているものの未だ収束していない状況でありますので、今後とも感染予防の対応に万全を期して、文化芸術の振興に積極的に取り組んでまいります。

### (2) 施設の管理について

施設の管理については、施設全般にわたって専門業者による定期的な保守点検を実施し万全を期しておりますが、文化センターは築37年以上が経過し、各設備・機器の老朽化による計画的な改修が必要となっておりますので、市所管課への報告・協議を行い対応に努めてまいります。

当年度は、各設備の経年劣化による突発的な修繕対応及び8月にスプリンクラーの故障により館内浸水対応、また、9月の台風による建物屋根の破損により高額な予算が必要となり、R4年度に実施予定であった舞台機構及び非常用蓄電池設備の改修が先送りになりました。

今後とも、「目配り・気配り・心配り」をモットーに施設の維持管理を行い、利用者に安全で、安心して利用していただけるように努めてまいります。

また、昨年12月に開館した野口遵記念館については、各種不具合な面の調整を残しておりますが、できるだけ早くスムーズな運営が出来るように努めてまいります。

### (3) 自主文化事業について

昨年度の自主文化事業は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、13/17公演で4公演中止となりましたが、当年度については、「野口遵記念館」開館イベントの実施等により25公演を開催することができました。

当年度の自主文化事業の入場者数は 9,149人(前年比3,687人増)、収入は 5,276,000円(前年比2,909,340円増)、支出は 11,622,353円(前年比6,316,079円増)となっていますが、文化芸術振興費補助金や延岡市委託料により、実質的な収支は 3,087,647円と黒字になっています。

来年度は、野口遵記念館開館記念イベントイヤーと位置付け、公演招聘事業など5つの事業組立てで、開館記念事業を主体として自主文化事業に取り組みます。

これらの事業の周知及び集客拡大等のために、月刊情報誌「じゃがじゃがのべおか」の充実を図るとともに、「野口遵記念館」のホームページ新設に合わせ、延岡総合文化センターのホームページも刷新し、ラインなど情報ツールも活用してPR強化を図ります。また、友の会「じゃがじゃがメイト」の加入促進に努めてまいります。